

科目番号	23	科目名	デザイン史概説A	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	島先 京一 (芸術学 学部 教授)			
実施方法	対面授業			
教室名	未定	会場		
授業期間	2022年4月19日(火)～2022年7月26日(火) <毎週木曜日> 1時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		40	%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他(ミニレポート)		60	%
別途負担費用	なし			
その他特記事項	<p>・参考になる資料を指示するので、18世紀から19世紀にかけてのヨーロッパの歴史について概観しておくこと。</p> <p>・オリジナルのノート作成を心掛けること</p>			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
18世紀から19世紀にかけての産業革命は、人びとの生活を激変させた。特に、生活に用いる、様々な道具やモノ、或いは環境を形成するものづくりの現場は、大きな影響を受けた。それ以前には職人の手で一つひとつが手工作で制作されていたものが、機械によって一度に大量に生産されるようになったのである。この講義では、ものづくりの現場への機械の導入をめぐる、様々な工芸家やデザイナーの苦闘の跡を探っていく。そのことを通して、近代デザインの考え方の基礎の成立について知ることを目的とする。				
【到達目標】				
(1)歴史という概念の相対性について考えることができる				
(2)デザインが社会の関係について考えることができる				
(3)機械によるモノ作りとしてのデザインについて考えることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月19日	歴史とは何か		
2	4月26日	産業革命の概要を考える		
3	5月10日	産業革命とものづくり		
4	5月17日	イギリス社会の階層性		
5	5月24日	アルバート公とヘンリー・コールのデザイン改革		
6	5月31日	1851年の万国博覧会		
7	6月7日	ウィリアム・モリスの活動の概要		
8	6月14日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 1回目		
9	6月21日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 2回目		
10	6月28日	美術工芸運動		
11	7月5日	アール・ヌーヴォーの概要		
12	7月12日	フランスとベルギーのアール・ヌーヴォー		
13	7月19日	スコットランド、カタロニア、オーストリアのアール・ヌーヴォー		
14	7月26日	アール・ヌーヴォーのデザイン史上の意味		
15	月日			
<教科書・参考書>				
参考になる資料を授業の進行に合わせて紹介します。				